

技術展示



注目技術賞審査委員長
高橋 伸輔
[近畿地方整備局 企画部長]



「建設技術展2024近畿」では、「DX・ICT」、「維持・更新」など時代のニーズに応える9つの分野において、産学官をはじめとした237の出展者から277のブースで様々な技術が展出されました。2日間で来場者が1万7千人を超え、非常に活気がある素晴らしい技術展でした。

本技術展は、建設技術の出展だけでなく、最新の話題を提供するイベントも多数開催されました。“上下一体となった水道・下水道の地震対策のあり方”に関するフォーラム、“建設現場へのAI戦略～取り組み事例と今後の展開～”に関するシンポジウム、“大阪・関西万博を契機とした西日本の経済成長戦略”に関するシンポジウムなどが来場者に向けて発信され、建設業の新たな展望を感じる機会となりました。

今回の注目技術賞、審査委員特別賞は、建設現場に限らず汎用的に活用できそうな技術や、汎用性があるだけでなく特徴のある面白い技術について着目し、AUVによる堆砂予測や水質管理などに関する技術、植物が元気に育つ環境があれば電力を得られる技術、設計段階から竣工後の維持管理に至るまで一気通貫でデータを統合管理するシステムなどを選ばせていただきました。また、様々な展示がありましたが、来場者の投票により選ばれるベストブース賞は多くの来場者が足を止めるなど、工夫を凝らした展示となっており大変感心させられました。

日本は人口減少社会であり、今後も人手不足は解消しない時代に突入します。産学官が連携して建設技術展を盛り上げていくことで、展示いただいた技術の一つ一つが積み重なって、様々な課題を解決する建設現場のオートメーション化につながるものと考えています。また、新たな技術をどんどん実装化することにより、建設業が元気になることで、災害に対する地域の安全・安心が将来にわたって確保される社会が実現することを期待いたします。

注目技術賞



展示された技術の中から、「技術の先進性」、「効果」、「活用性」の観点から公共事業の事業主体者が審査選定した“注目すべき技術”に贈られます。

審査委員特別賞



審査員による投票で、注目技術賞に選ばれなかったものの、技術の独創性やアイデア、先進性など今後、期待される技術について、審査委員会が特別に推薦したものに贈られます。

ベストブース賞



一般来場者に最も関心の高かったブースに投票していただき、得票数が最も多かったブースに贈られます。



注目技術賞



安藤ハザマ

施工

ボタニカルライト(botanical light)

ボタニカルライト(botanical light)は、植物と微生物の力で発電する未来のエネルギーです。土中の微生物が放出する電子を利用して発電します。電源がなくても、植物が元気に育つ環境があれば電極が劣化するまで永続的に電力を得ることができます。



ボタニカルライトの使用状況



ボタニカルライトの発光状況

Tel 06-6454-2690 <https://www.ad-hzm.co.jp/>

審査委員特別賞



阿南電機(株)

維持・更新

ウルトラワックスステープ

高耐久性防水防食システム「ウルトラワックスステープ」。電動工具不要の簡単施工で40年の長期防食が可能です。狭小部や凹凸の多い形状などケレンが十分にできない環境下でもハンドツールのみで施工可能で施工性に優れます。施工工程は3~4種程度のケレン後、プライマーを塗布しテープを圧着するだけなので施工が早く、工期の大幅短縮にも貢献します。塩害にも強く優れた耐久性がある一方でボルト1本からの少量施工にも対応しており、幅広い用途でご活用いただけます。



ウルトラワックスステープ添接部 施工事例

Tel 06-6353-6640 <https://anandenki.jp/>

審査委員特別賞

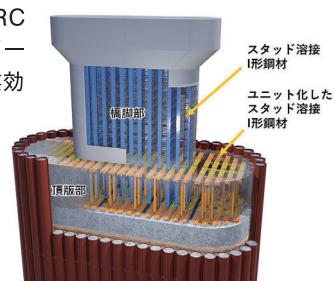


五洋建設(株)

施工

シーコーム工法

シーコーム工法(SeaComb工法)は、複合構造を用いた臨港道路橋脚の構築工法です。ウェブにスタッドを溶接したI形鋼材を芯材とし、橋脚部では主鉄筋の代替材料、頂版部ではI形鋼材をユニット化して構築します。従来工法(RC橋脚およびRC頂版)では、過密鉄筋によるコンクリートの充填性の低下や鉄筋組立の作業効率の低下が課題としてあり、安全面での懸念もありましたが、本工法はI形鋼材の使用による主鉄筋の本数削減と鋼材のユニット化により、工程短縮および省力化を図り、効率的に施工を行うことが可能です。



シーコーム工法 概要図

Tel 06-6486-2107 <https://www.penta-ocean.co.jp/>